宇土市地域学校協働活動便り

「結（ゆい）」

No.6
R8.9.10
発行

宇土市教育委員会
生涯活動推進課
生涯学習係
文責:中村敬人
TEL0964-22-6510

令和８年熊本地震の発生から１ヶ月以上が過ぎましたが、未だに余震がありその度に身構えてしまいます。皆さんの暮らしは少しは落ち着かれたでしょうか。多くの場所で電気・水道等のインフラは復旧しているように思います。私の町でも一部地域を除いては、何とか生活に支障がない程度にはインフラも復旧しています。ただし、倒壊した無数の家屋は手付かずのままの状態で今もなお残っています。先日我が家でも長さ１５メートルほどの倒壊したブロック塀を災害支援チームの方々に片付けていただきました。そのチーム名が何と「結」でした。何故か、親近感を感じてしまいました。

熊本地震に限らず、千葉県や石川・富山県、そして、福井県での豪雨による大災害と辛いニュースに目を背けたくなります。

それでも、気持ちを強く持ち、少しずつでも暮らしを前へ進めて行かなくてはなりません。ただし、焦らずにです。被災地の皆さん、互いに頑張りましょう！

そんな中、小中学校でも２学期が始まり子供たちの登校の姿を見かけます。屈託のない姿に癒されます。そして、何故かしら児童の元気な声にほっとしてしまいます。地震で心折れそうな時に子供たちの無限な魅力に救われ、そして感謝の日々です。



敬老の日に団扇を贈ろう



宇土市地域学校協働活動推進事業の一つとして、毎年敬老の日に市老人福祉センター利用者の皆さんに子供たちのメッセージが入った団扇を届けています。今年で３年目の取組となります。昨年までの３小学校に加え、今年は走潟小学校の特別支援学級の子供たちにも制作をお願いしました。

利用者の皆さんも毎年この団扇を楽しみにしておられるようです。受け取られた利用者の方々からお礼の返しの言葉があり、それを制作に携わった子供たちに届けることでこの取組が完結します。

利用者の方々からのお礼の感想を見た子供たちからは、「自分が作った団扇を喜んでもらえてよかった。」、「役に立ててよかった。」等、自己有用感の醸成につながる取組となっています。

今回は4校の児童に合計70枚の団扇を制作してもらいました。

鶴城中学校ボランティア読み聞かせが始まります！

今年度もいよいよボランティア読み聞かせが、今月から来年２月まで月に１回、１年生を対象に始まります。４日（金）に事前打合せ会を実施し、１１日（金）から１回目の読み聞かせが始まります。今年度は９学級（通常学級８＋特別支援学級１）での実施になります。

ボランティア養成講座「読み聞かせ」の開催中止

毎年、この時期に標記の講座を開催しています。今年は、美里町立中央中学校司書の光井 美樹先生を講師にお招きして開催予定でしたが、この度の熊本地震によりご自宅が被災されましたので今回の講座を中止することにしました。各公民館に掲示した講座募集のチラシをご覧になり参加を考えておられた方には大変申し訳ありませんが、お知らせいたします。

地域学校協働活動は、学校と地域が連携・協働して双方向で取り組む活動です。